

Y R P 開設 2 0 周年に寄せて



YRP開設20周年記念事業実行委員長
YRP研究開発推進協会 会長
齋 昭男

YRP(横須賀リサーチパーク)は今年10月で開業から20年を迎えました。この記念すべき年を迎えられるのも関係の皆様のご支援、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

振り返りますと、YRP設立の構想は開業の10年ほど前に遡ります。当時の郵政省、横須賀市、京浜急行電鉄、NTTなどが三浦半島の自然豊かな60ヘクタールの土地を有効活用することについて調査検討を開始した結果、NTT横須賀電気通信研究所の隣であり、都心との交通インフラも整備されているという恵まれた環境と、当時の情報通信の自由化政策、NTT民営化、国際的な移動通信の研究開発の進展等の背景を踏まえ、国内外のリサーチパークの状況調査を精力的に行い、この地

を世界的にトップクラスの移動通信技術のリサーチパークにしようとの関係者の共通認識が確立しました。

1986年「横須賀インテリジェントシティ計画」発表、1987年「横須賀リサーチパーク構想推進連絡会」設立、1991年「横須賀リサーチパーク基本計画」策定、1993年「横須賀リサーチパーク実施計画」策定、「株式会社横須賀テレコムリサーチパーク」設立を経て、1997年10月に横須賀リサーチパーク(YRP)が開業しました。この開業まで、開発事業者である京浜急行電鉄により、山谷の土地整地、トンネル掘削などの土地基盤整備、さらにバス路線の整備、就業者支援のためのレストラン等の設置等が精力的に進められ、その一方で、YRPの中心的建物となるYRPセンター1番館やNTTドコモのドコモR&Dセンタなどが順次建設されました。

このことにより、YRPには国の研究機関である当時の通信総合研究所、通信事業者や製造事業者を含む国内外の多数の企業が集結し、第3世代携帯電話の研究開発が世界トップのペースで進められ国際的に大いに注目されました。

その後、「横須賀リサーチパーク研究開発協議会」と「横須賀リサーチパーク推進協会」の組織統合が行われ現在の「YRP研究開発推進協会」となり、YRP5ヶ年ビジョンの策定、新規プロジェクトの創生、テストベッドの提供、国際連携の強化、ワイヤレス・テクノロジー・パーク等の展示・講演会の企画等が効果的効率的に実行され、YRPの発展に貢献して参りました。

20年を迎えた今年は、移動通信分野において大きな変化の節目となることが予見されたことから、それに応じた多分野の有識者からなる委員会を設置して第5期YRP5ヶ年ビジョンの審議を重ねました。同委員会では、YRPの優位性を分析しYRPがチャレンジする目標を達成する取り組みの柱として、①新ビジネス創出支援、②ICTソリューションの実証・実装、③人材育成・研修・訓練④対外連携と情報発信を設定しました。この議論の中でYRPの位置づけを「人が集まる健康的で面白く楽しいYRP」に発展させようとの合言葉が打ち出され、これがYRPの今後を占う重要なチャレンジになるのではないかと思います。

ICTの発展は今後5GやIoTなどの技術開発に支えられ劇的に推移していくものと料されますが、YRPは第5期5ヶ年ビジョンに示された指針に沿った活動を進めて参りますので、関係の皆様の一層のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2017年10月